# 新潟大学　倫理審査委員会　オプトアウト書式

| | |
|---|---|
| ①研究課題名 | 筋膜構造の形態学的・組織学的基盤の確立に関する研究 |
| ②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者 | |
| 2020～2024 年度新潟大学医学部、大学院医歯学総合研究科における人体解剖学実習で用いられた篤志献体のご遺体 | |
| ③概要 | |
| 肩こりや腰痛などの筋・筋膜に起因する疼痛は、あらゆる年代で高頻度にみられ、慢性で難治性です。近年、肩こりや腰痛などに対して筋膜にアプローチする「筋膜リリース」や「組織間リリース」などの治療手技が普及しています。しかし、治療効果に関しては一定の見解が得られておらず、そのメカニズムも不明です。その原因として、筋膜構造が整理されていないこと、一部の筋膜構造でしか侵害受容線維の分布様式が明らかにされていないことが考えらます。そこで我々は、ご遺体を用いて、肉眼解剖学的に筋膜構造の部位差と侵害受容線維の分布様式を解明することで、筋膜構造の形態学的・組織学的基盤を確立することを目的として本研究を計画しました。 | |
| ④申請番号 | 2023-0169 |
| ⑤研究の目的・意義 | 本研究により筋膜構造の部位差と各筋膜タイプの侵害受容線維の分布様式の特徴を明らかにすることで、1,000 万人を超える有訴者がいると推定される肩こりや腰痛の改善に繋がり、社会的・経済的波及効果は計り知れないと考えます。 |
| ⑥研究期間 | 倫理審査委員会承認日から 2026 年３月３１日まで |
| ⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。） | 遺体引取情報は解剖学教室で保管し、性別、年齢、年度以外の個人情報は扱いません。得られた情報の集積は暗号化ないしパスワードロックを行ったファイルで行い、学会や論文で公表する場合も含めて、ご遺体のプライバシーに関する内容は一切外部に公表しません。 |
| ⑧利用または提供する情報の項目 | 性別、年齢、年度、個人を特定できない筋・筋膜組織（皮膚、皮下組織、筋肉組織含む） |
| ⑨利用する者の範囲 | 新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。<br>新潟大学歯学部解剖学実習室<br>研究責任者：医歯学総合研究科　肉眼解剖学分野　佐藤昇<br>共同研究機関：新潟医療福祉大学　江玉睦明 |
| ⑩試料・情報の管理について責任を有する者 | 新潟大学　医歯学総合研究科　肉眼解剖学分野・教授・佐藤昇<br>共同研究機関：新潟医療福祉大学・理学療法学科・教授・江玉睦明 |
| ⑪お問い合わせ先 | 本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。<br>所属：新潟大学医歯学総合研究科肉眼解剖学分野・教授<br>氏名：佐藤昇 |

| | |
|---|---|
| | Tel：025-227-2048<br>E-mail：nsato@med.niigata-u.ac.jp |